

株式会社アートマルワ

〒632-0111 奈良県山辺郡都祁村小倉倉立1161-1
TEL 0743-84-0327 FAX 0743-84-0328
E-mail art-m@peace.ocn.ne.jp

じゅうたんクリーニングに 新技術を導入し利益アップ

受注先の理解が得られず 売上高が激減

アートマルワは、じゅうたんクリーニングの専門業者である。国内では5社しかないという大型設備を所有しているが、創業以来、大手業者の下請けだったため、多忙の割には収益が上がらない体質だった。

そこで、消費者の環境意識や清潔観念の高まりに対応すべく、完全水洗いシステムを開発。付加価値を高めたこの処理法を実施することを条件に、受注先に手数料の増額を求めたが、回答は「質より値段」。嶋田篤社長は「それでも信じる道を進んだところ、注文は

半減しました」と振り返る。

環境問題に敏感な 大手企業の評価を得る

一般的なじゅうたんクリーニングは、表面に洗剤を撒き、上澄み分を洗浄するだけ。同社の新システムは、じゅうたんからほこりなどを取り除いたうえで、天然素材の洗剤で丸洗い。さらに抗菌・防臭効果をもたらす「光触媒加工」を表面に施す。

同社はこの技術をもとに、下請けからの脱却と新規顧客の開拓、エンドユーザーへの直販体制の確立を目指し、平成16年に経営革新計画を策定。大型洗浄機などを

導入し、大量処理体制を整えた。

その後の経過は極めて順調だ。環境問題に敏感な各種大手企業や組合など新規の取引先が増加。じゅうたんクリーニングは引越し時に行われることが多いため、大手引越し業者とも提携した。また、ペット商品を扱う業者との取引も始まった。

単価上昇で売上は回復し 利益率も着実にアップ

16年にはもう一つうれしいことがあった。企業評価の高まりから、大手レンタル業者のイベント用テントやカーペットのクリーニング依頼が舞い込んだのである。嶋田社長は「これは想定外でした。当社は冬から春の閑散期対策が課題でもあったのですが、この需要でしのげました」と話す。

取扱量ではまだ下請け時代に及ばないが、1本当たりの単価が上昇したので、今期の売上は注文が激減する以前の8000万円ほどに回復する見込み。そして何より、下請けから脱却したことで利益率はアップした。今後も全国の企業に営業を強め、強固な経営基盤を確立してゆく方針だ。



自動洗浄機で丸洗い。洗剤は環境に優しい天然素材製品を使用している



代表取締役
嶋田 篤

- 業 種 特殊クリーニング業
- 本社所在地 奈良県山辺郡都祁村小倉倉立1161-1
- 資 本 金 2000万円
- 創 業 昭和63年6月
- 売 上 高 5500万円（16年5月）
- 従業員数 7人

昭和63年6月、段ボール製造の丸和紙器株式会社（本社・大阪府八尾市）の子会社として創業。平成9年からクリーニング業を始めた。大手業者の下請け仕事からの脱却を目指して、経営革新計画を策定。16年6月に承認された。

サービスの概要

じゅうたんクリーニングは6つの工程から

最初は受け入れ検査。汚れやシミなどの汚損状況を検査してカルテを作成する。次は脱塵。大型機械にじゅうたんを通して何度も叩き、奥に潜むほこりやダニ、毛などを浮かせて、強力なバキュームで吸引する。

さらに、汚れが特にひどい部分やシミをポイント洗浄した後、自動洗浄機で丸洗い。ノズルから高速で洗剤を吹き付けて洗浄した後、再び水を噴射させて洗剤を十分に洗い流す。使用する洗剤は、ミネラルやハーブなど皮膚に優しい天然素材を使ったものだ。



洗浄前に脱塵機に通して、ほこりやダニなどを除去する

サービスの特徴

丸洗いと「光触媒加工」

「一般的なクリーニングだと、洗剤の成分が残ってしまいますが、当社の場合は丸洗いするので、そんなことはありません。また、皮膚に優しい天然素材の洗剤を使用しています」（嶋田社長）。

また、「光触媒加工」による抗菌消臭効果は、表面に噴霧した二酸化チタンが剥離するまで持続する。剥離の程度は使用場所や頻度によって異なるが、同社では1～2年に1回の丸洗いを勧めている。



工場排水の処理も万全を期している

洗浄後は、光触媒の二酸化チタンを表面に噴霧する「光触媒加工」を施す。光触媒とは、光が当たると、それ自体は変化しないが化学反応を促進する物質のことで、植物の光合成を促す葉緑素（クロロフィル）がよく知られる。同社が使用する二酸化チタンは、厚生労働省から安全性が認められているもので、太陽光や蛍光灯の紫外線が当たった状態で、細菌や匂いの原因物質が接触すると、反応を起こして分解するというわけだ。

そして、最後に約70℃の熱風を5時間ほどあてて乾燥させる。



表面に二酸化チタンを噴霧する「光触媒加工」